

# 事務事業評価シート

事務事業コード	026200	重点施策	しごとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	気高道の駅(仮称)整備事業		所属名	都市整備部	都市企画課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成30年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	気高道の駅(仮称)整備事業費			予算事業コード	01-07-01-01-32-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市で3か所目となる道の駅
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取西道路開通を契機として、鳥取市西地域に道の駅を整備する。
手段 (どうするのか)	基本設計を策定する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別計画	①基本設計の策定	①建築実施設計の策定 ②造成工事	①建築工事 ②外構等工事		
年度別実績	①基本設計を策定						
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	24,427	0	0	0	0	
	直接経費 A	24,427	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	10,300	0	0	0	0
		その他	6,573	0	0	0	0
一般財源	7,554	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	道の駅整備事業	業務	目標	6
			実績	6	0	0	0	0
	(指標の説明) 整備完了(平成31年度)までに必要な業務数により、進捗度を把握							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 事業調整係 0857-20-3253</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P185（都001）</p> <p>【事業の概要】 平成30年中に山陰道鳥取西道路が全線開通を契機として、地域活性化の拠点施設として浜村鹿野温泉IC（仮称）の隣地に、平成30年度末の完成を目指し、道路管理者である鳥取県との一体型により「道の駅」の整備を行う。</p> <p>【事業の成果】 気高道の駅（仮称）は、「地域外から活力を呼ぶゲートウェイ型」と「地域の元気を創る地域センター型」の両方の性格を併せ持つ施設整備とし、鳥取市西地域のにぎわいと雇用機会の創出につなげる。本道の駅では鳥取市西地域の観光振興、市民生活や地域コミュニティの維持、充実を図り、地域交流イベント、まちづくりの活動の場として活用できる。本市の代表的な観光資源である浜村、鹿野温泉を活用した足湯、木質バイオマス、太陽光による再生可能エネルギーを導入し、防災機能も備えた道の駅として整備を行う。また道の駅の加工施設で地元の農畜水産物や特産物を使った新しい商品や特産品を開発することで6次産業化の推進する。道の駅を「鳥取市の西の玄関口」として、鳥取市西地域のみならず、本市全域の観光振興につなげることで経済波及効果が期待できる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成31年4月のオープンを目指す。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	道の駅整備事業	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>西地域の振興につながる重要な事業であり、西道路全線開通に合わせて着実に事業を推進し、H31年4月のオープンを目指す。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	026301	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	都市再生整備事業(青谷地区)		所属名	都市整備部 都市企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成26年度 ~ 平成30年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4201	生活基盤の充実				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	都市再生整備事業費(青谷地区)			予算事業コード	01-07-05-01-32-02

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	青谷地区
意図 (どのような状態 にするために)	生活基盤の整備や地域内の定住対策の促進などにより、賑わいと活力のある地域生活拠点の再生整備を計り、安心して暮らしやすいまちづくりを目指す。
手段 (どうするのか)	地域の課題や住民の意向を踏まえた都市再生整備計画を策定し、「社会資本整備総合交付金」などを活用し魅力ある居住環境を形成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①青谷中央広場整備事業(中央公民館解体工事) ②福井田川親水護岸整備工事 ③青谷駅前広場整備工事に伴う測量設計業務	平成29年度 ①青谷中央広場整備事業(中央公民館講堂解体工事) ②青谷駅前広場整備工事	平成30年度 ①青谷中央広場整備工事 ②青谷駅前広場整備工事	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	①青谷中央広場整備事業(中央公民館解体工事) ②福井田川親水護岸整備工事 ③青谷駅前広場整備工事に伴う測量設計業務					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	55,305	0	0	0	0	
	直接経費 A	55,305	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	17,799	0	0	0	0
		地方債	36,100	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,406	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	青谷駅前整備事業	業務	目標	1	1	1	0	0	
			実績	1	0	0	0	0		
	(指標の説明) 整備完了までに必要な業務数により、進捗度を把握									
	2	青谷中央広場整備事業	業務	目標	1	1	1	0	0	
			実績	1	0	0	0	0		
	(指標の説明) 整備完了までに必要な業務数により、進捗度を把握									
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市計画係 0857-20-3272</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P257(都003)</p> <p>【事業の経過及び背景】 平成24年度より、地域生活拠点の再生を促進する方策を検討するために、学識経験者や住民の代表者により組織された委員会を行っている。平成25年12月に地域生活拠点再生整備計画(委員会提案)が作成され、その計画を基に平成26年3月に「都市再生整備計画(青谷地区)」を策定した。なお、第10次総合計画の重点施策として、「にぎわいにあふれ安心して暮らせる'まちづくり」があり、本事業も重点施策の1事業として位置付けられている。 地域生活拠点の1つである「青谷地区」において、「都市再生整備計画(青谷地区)」に基づく生活基盤等の整備を進めることにより、中山間地域の暮らしを支え、安全で安心して暮らせる地域生活拠点の再生を図る。</p> <p>【事業の成果】 ①青谷中央広場(仮称)整備事業 近隣住民が憩い・集う場としての広場整備を行うため、支障となる旧青谷中央公民館解体工事を行った。 ②福井田川親水護岸整備事業 地域コミュニティの活性化を促すため、誰もが立ち寄ることができる親水異空間の一部区域の整備を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 都市再生整備計画(青谷地区)に定めた計画事業を実施するため、事業完了年度となるH30年度を目指し着実に事業を推進する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	青谷駅前整備事業	100%				
	2	青谷中央広場整備事業	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点での進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>多極ネットワーク型コンパクトシティの実現のためにも、地域生活拠点の再生は重要である。当地域の都市再生事業を推進するとともに、他地域での事業展開を図る。</small></p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	026302	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	都市再生整備事業(気高地区)		所属名	都市整備部 都市企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	都市再生整備事業費(気高地区)			予算事業コード	01-07-05-01-32-04

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	気高地区
意図 (どのような状態 にするために)	生活基盤の整備や地域内の定住対策の促進などにより、賑わいと活力のある地域生活拠点の再生整備を計り、安心して暮らしやすいまちづくりを目指す。
手段 (どうするのか)	地域の課題や住民の意向を踏まえた都市再生整備計画を策定し、「社会資本整備総合交付金」などを活用し魅力ある居住環境を形成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①気高駅前広場整備事業に伴う測量設計業務	平成29年度 ①気高駅前広場整備事業	平成30年度 ①気高駅前広場整備事業	平成31年度 ①気高駅前広場整備事業	平成32年度 ①気高駅前広場整備事業	
	年度別実績	①気高駅前広場整備事業に伴う測量設計業務					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,977	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,977	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,200	0	0	0	0
		地方債	1,600	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	177	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	気高駅前整備事業	業務	目標	1	1	1	1	1
		(指標の説明)		実績	1	0	0	0	0
	2			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>(新) 【問合せ先】都市計画係 0857-20-3272</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・257(都004)</p> <p>【事業の概要】 平成26年度より、地域生活拠点の再生を促進する方策を検討するために、学識経験者や住民の代表者により組織された委員会を行っている。平成27年3月に地域生活拠点再生整備計画(委員会提案)が作成され、その計画を基に平成28年3月に「都市再生整備計画(気高地区)」を策定する予定である。 なお、第9次総合計画のリーディングプロジェクトに、中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられている。 地域生活拠点の1つである「気高地区」において、「都市再生整備計画(気高地区)」に基づく生活基盤等の整備を進めることにより、中山間地域の暮らしを支え、安全で安心して暮らせる地域生活拠点の再生を図る。</p> <p>【事業の成果】 ○JR浜村駅前広場整備事業(JR浜村駅前広場測量設計業務) 近隣住民や観光客が憩い・集う場としての浜村駅前広場整備を行うため、測量設計業務を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 都市再生整備計画(気高地区)に定めた計画事業を実施するため、事業完了年度となるH32年度を目指し着実に事業を推進する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	気高駅前整備事業	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>多極ネットワーク型コンパクトシティの実現のためにも、地域生活拠点の再生は重要である。当地域の都市再生事業を推進するとともに、他地域での事業展開を図る。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	026400	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	道路管理事業		所属名	都市整備部 道路課

## 1. 基本情報

位置づけ の 位置	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4201	生活基盤の充実				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	施設管理
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	道路管理費		予算事業コード	01-07-02-02-02-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市道利用者、地域住民
意図 (どのような状態 にするために)	市道の安全な通行を確保するため
手段 (どうするのか)	定期的な道路パトロール、道路および道路施設等の損傷個所の修繕、市道沿線の除草、植栽の剪定管理、冠水対策施設の維持管理、側溝浚渫、街路灯の補修等を行う

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①道路パトロール ②道路施設等の損傷個所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修	①道路パトロール ②道路施設等の損傷個所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修	①道路パトロール ②道路施設等の損傷個所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修	①道路パトロール ②道路施設等の損傷個所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修	①道路パトロール ②道路施設等の損傷個所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修	
	年度別実績	①道路パトロール ②道路施設等の損傷個所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	264,775	0	0	0	0	
	直接経費 A	264,775	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	54,255	0	0	0	0
一般財源	210,520	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	市道実延長	m	目標	1673541	1673541	1673541	1673541	1673541
		(指標の説明) 鳥取市が管理する市道の距離		実績	1673541	0	0	0	0
	2	橋梁数	本	目標	1368	1368	1368	1368	1368
(指標の説明) 鳥取市が管理する橋の数			実績	1368	0	0	0	0	
3			目標	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】	管理係、維持第一係、維持第二係 0857-20-3261、3262、3263
	【10次総の施策体系】	4201
	【予算計上の経過】	管理すべき市道延長の増加、道路施設の増加、老朽化により一定規模の管理費・維持補修費が必要である。
	【事業の概要】	道路及び道路施設等の維持作業、損傷箇所の修繕を行い、もって市道を適切に管理する。
	【事業の成果】	道路及び道路施設等の維持作業、損傷箇所の修繕を行い、もって市道を適切に管理するため、定期的な道路パトロール、道路及び道路施設等の損傷箇所の修繕、市道沿線の除草、植栽の剪定管理、関連施設（鳥取駅前広場、鳥取大学前広場、ポンプ場等）の維持管理、冠水対策施設維持管理、側溝浚渫、街路灯の補修等を直営若しくは業者等委託、資材支給等により実施。
	【今後の課題・方向性】	管理すべき道路施設の増加により光熱水費、延長の増加による除草等の維持管理経費、施設の老朽化による修繕費というものが増加している。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	市道実延長	100%				
	2	橋梁数	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

LED化への変更など、道路管理費の低減に努めているが、管理すべき道路施設の増加や道路延長の増加による除草等の維持管理経費、施設の老朽化による修繕費というものが増加している。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	026500	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	一般道補修事業		所属名	都市整備部	道路課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 実施の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備	
安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営	
公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計	
		0	0	予算事業コード	01-07-02-02-03-01	
予算事業名	一般道補修費					

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市道利用者、地域住民
意図 (どのような状態 にするために)	路面損傷個所の補修並びに地域からの要望による道路修繕を行い、通行者の安全を確保するため
手段 (どうするのか)	路面損傷等による事故発生の可能性がある個所を緊急に補修対応するため、緊急修繕業務を年度当初に発注するとともに、地区要望(側溝改良、歩道改良、法面補修など)による道路の維持補修を実施する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①地区要望(側溝改良、歩道改良、法面補修など)による道路の維持補修	①地区要望(側溝改良、歩道改良、法面補修など)による道路の維持補修	①地区要望(側溝改良、歩道改良、法面補修など)による道路の維持補修	①地区要望(側溝改良、歩道改良、法面補修など)による道路の維持補修	①地区要望(側溝改良、歩道改良、法面補修など)による道路の維持補修	
	年度別実績	①地区要望(側溝改良、歩道改良、法面補修など)による道路の維持補修					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	159,043	0	0	0	0	
	直接経費 A	159,043	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,919	0	0	0	0
		地方債	11,700	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	144,424	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	対応件数	件	目標	31	0	0	0	0	
				実績	31	0	0	0	0	
	(指標の説明) 地区要望により対応した件数(地区要望の数や対象となる事案の数に変動があるため目標設定値はなし)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】維持第一係、維持第二係、新設改良係 0857-20-3262、3263、3254</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保する。</p> <p>【事業の概要】 地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保する。</p> <p>【事業の成果】 地区要望（側溝改良、歩道改良、法面補修など）による道路工事を実施する。</p> <p>【今後の課題・方向性】 市道に関する要望・苦情が多種多様化しており、適切かつ柔軟な対応が求められている。また、件数も膨大であり、その処理が急がれる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	対応件数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	地区要望のうち可能なものについては順次対応している。(市の管理対象外など対応不可能なものは除く)
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

市道に関する要望・苦情が多種多様化しており、適切かつ柔軟な対応が求められている。また、件数も膨大であり、地元調整等が進まない箇所等もあり、重要度、危険度等で、優先順位を明確にする必要がある。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	026600	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	社会資本整備総合交付金事業		所属名	都市整備部 道路課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	社会資本整備総合交付金事業費			予算事業コード	01-07-02-03-05-06

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	社会資本整備総合交付金による市道整備
意図 (どのような状態 にするために)	集落間を結ぶ生活に密着した道路である市道を利用者の利便性向上を図るとともに、安全な道路環境を整えるため、改良、舗装補修、側溝修繕等を行う
手段 (どうするのか)	交付金等を活用し道路整備を推進する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①社会資本整備総合交付金による市道整備 ・道路新設・改良 ・拡幅工事	①社会資本整備総合交付金による市道整備	<<未定>>	<<未定>>	<<未定>>	
	年度別実績	①社会資本整備総合交付金による市道整備 ・道路新設・改良 ・拡幅工事  <<実績>> 河原インター山手線ほか 15路線					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	611,464	0	0	0	0	
	直接経費 A	611,464	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	238,175	0	0	0	0
		地方債	354,436	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,853	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	施工路線数	箇所	目標	24	0	0	0	0	
				実績	16	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】新設改良係 0857-20-3254</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 社会資本整備総合交付金による市道整備を推進する。</p> <p>【事業の概要】 集落間を結ぶ生活に密着した道路である市道の新設及び改良を行うことにより、利用者の利便性向上を図るとともに、安全な道路環境を整える。</p> <p>【事業の成果】 社会資本整備総合交付金(道路局)(交付率55%、50%) 河原インター山手線ほか15路線</p> <p>【今後の課題・方向性】 交付金等を活用し道路整備を推進する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	施工路線数	67%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	国からの交付金が減ったため、今年度に行う予定の事業が完了しなかった。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	国からの交付金が減ったため、今年度に行う予定の事業が完了しなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

市民ニーズにこたえるため、社会資本整備総合交付金を効率的に活用し、安心・安全な道路を確保する。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	026700	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	防災・安全交付金事業		所属名	都市整備部 道路課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	防災・安全交付金事業費			予算事業コード	01-07-02-03-05-07

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	防災・安全交付金による市道整備
意図 (どのような状態にするために)	安全で安心できる生活空間の整備のため、危険箇所の防災対策などを実施するとともに、通学路などの歩道を重点的に整備することにより、安全で安心できる幅広い生活空間を創出する。
手段 (どうするのか)	交付金等を活用し道路整備を推進する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①防災・安全交付金による市道整備 ・道路舗装 ・側溝整備 ・橋梁設計 ・橋梁修繕 ・道路施設長寿命化 ・通学路整備	①防災・安全交付金による市道整備	<<未定>>	<<未定>>	<<未定>>	
	年度別実績	①防災・安全交付金による市道整備 ・道路舗装 ・側溝整備 ・橋梁設計 ・橋梁修繕 ・道路施設長寿命化 ・通学路整備					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	573,864	0	0	0	0	
	直接経費 A	573,864	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	294,976	0	0	0	0
		地方債	254,064	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	24,824	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	施工路線数	箇所	目標	40	0	0	0	0	
				実績	34	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、3263、3254</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 防災・安全交付金による市道整備を推進する。</p> <p>【事業の概要】 安全で安心できる生活空間の整備のため、危険箇所の防災対策などを実施するとともに、通学路などの歩道を重点的に整備することにより、安全で安心できる幅広い生活空間を創出する。</p> <p>【事業の成果】 防災・安全交付金(道路局)(交付率55%、50%) 桜土手通りほか33路線</p> <p>【今後の課題・方向性】 交付金等を活用し道路整備を推進する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	施工路線数	85%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	国からの交付金が減ったため、今年度に行う予定の事業が完了しなかった。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	国からの交付金が減ったため、今年度に行う予定の事業が完了しなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 社会資本整備総合交付金を効率的に活用し、安心・安全な道路を確保する。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	026800	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	鉛製給水管更新事業		所属名	鳥取市水道局 鳥取市水道局	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成16年度～平成30年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市水道事業長期経営構想
	施策	4201	生活基盤の充実			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鉛製給水管
意図 (どのような状態にするために)	水道水の鉛水質基準が強化されたことにより、基準値を上回らないようにするため。
手段 (どうするのか)	上水道事業債を財源に、計画的に鉛製給水管の布設替えを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①給水管布設替え 鉛製給水管改良戸数 600戸	平成29年度 ①給水管布設替え 鉛製給水管改良戸数 460戸	平成30年度 ①給水管布設替え 鉛製給水管改良戸数 450戸	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	①給水管布設替え 鉛製給水管改良戸数 602戸					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	116,343	0	86,000	0	0	
	直接経費 A	116,343	0	86,000	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	103,000	0	86,000	0	0
		その他	13,343	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		残存戸数	戸	目標	1510	1510	1510	0	0
		(指標の説明) 鉛製給水管残存戸数		実績	602	0	0	0	0
	2				目標	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0
		(指標の説明)							
	3				目標	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 水道局工務課管理係 0857-53-7942</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業概要】 老朽化による漏水事故が多く発生していることや、鉛の水質基準が強化されたことから、鉛製給水管の解消に向け、計画的に更新を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度末で30,508戸(92.8%/32,863戸)の布設替えを完了し、残戸数が2,355戸となっている。</p> <p>【今後の課題・方向性】 鉛製給水管の更新は、主に鉛製給水管更新事業による給水管単独の布設替えと、震災対策整備事業による老朽管更新と同時に行う布設替えによって行っている。 現時点の計画では平成30年度末においても、約900件の鉛製給水管が残存することになるが、これは民地内掘削の了解が得られないものや、老朽管更新と同時に布設替えする予定のものであり、平成31年以降は修繕等のその他事業で順次更新できるよう努める。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	残存戸数	40%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画改良戸数600戸に対し602戸施工できたため。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	ほぼ年度目標どおりに工事が施工できたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>鉛製給水管の更新は、主に鉛製給水管更新事業による給水管単独の布設替えと、震災対策整備事業による老朽管更新と同時に行う布設替えによって行っている。 現時点の計画では平成30年度末においても、約900件の鉛製給水管が残存することになるが、これは民地内掘削の了解が得られないものや、老朽管更新と同時に布設替えする予定のものであり、平成31年度以降は修繕等のその他事業で順次更新できるよう努める。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	026900	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	配水施設整備事業		所属名	鳥取市水道局 鳥取市水道局

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成27年度～平成37年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市水道事業長期経営構想
	施策	4201	生活基盤の充実			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	送水施設、配水池及び送配水管路
意図 (どのような状態にするために)	平常時における安定給水の確保及び効率的な水運用を行うため。
手段 (どうするのか)	計画的に送水施設、配水池及び送配水管路の整備を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①送水施設整備 ②送配水管路整備 ・河原インター山手工業団地	平成29年度 ①送水施設整備 ②送配水管路整備 ・賀露ポンプ場	平成30年度 ①送水施設整備 ②送配水管路整備	平成31年度 ①送水施設整備 ②送配水管路整備	平成32年度 ①送水施設整備 ②送配水管路整備
	年度別実績	①送水施設整備 ②送配水管路整備 ・河原インター山手工業団地				
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	380,046	0	176,000	151,100	111,700
	直接経費 A	380,046	0	176,000	151,100	111,700
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	185,600	0	0	0	0
	その他	1,349	0	0	0	0
	一般財源	193,097	0	176,000	151,100	111,700

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	%	区分	目標	平成28年度	19.6	平成29年度	25.8	平成30年度	34.9	平成31年度	42.6	平成32年度	48.4
		(指標の説明) 事業費総額に対する進捗率	実績	19.6	0	0	0	0								
	2		目標	0	0	0	0	0								
		(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0								
	3		目標	0	0	0	0	0								
		(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0								

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 水道局工務課管理係 0857-53-7942</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の内容】 平常時における安定給水の確保及び効率的な水運用を行うため、送水施設、配水池、送配水管路の新設及び増設改良を行う。(直接送水拡大、千代川横断複数化、配水管網整備・連絡管整備、工業団地への送配水施設整備)</p> <p>【事業の成果】 平成28年度末では平成37年度までの事業費に対する進捗率は19.6%となっている。 平成28年度は河原インター山手工業団地の給水開始に向けて主に団地内の施設及び管路の整備を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度は賀露ポンプ場を改修し、直接送水拡大のための整備を行う。 平成30年度以降は、引き続き直接送水拡大、千代川横断複数化、配水管網整備・連絡管整備を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	事業進捗率	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	ほぼ計画どおり施設及び管路整備を行ったため。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	ほぼ年度目標どおり工事が施工できたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>平成29年度は賀露ポンプ場を改修し、直接送水拡大のための整備を行う。 平成30年度以降は、引き続き直接送水拡大、千代川横断複数化、配水管網整備・連絡管整備を行う。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	震災対策整備事業		所属名	鳥取市水道局 鳥取市水道局

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成27年度～平成37年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	水道法 鳥取市水道事業長期経営構想
	施策	4201	生活基盤の充実			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	老朽化した水道施設
意図 (どのような状態にするために)	地震などの災害に強い水道施設にするため。
手段 (どうするのか)	計画的に耐震管への布設替え等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新	平成29年度 ①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新 ③耐震補強	平成30年度 ①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新 ③耐震補強 ④震災時応急拠点整備	平成31年度 ①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新 ③耐震補強 ④震災時応急拠点整備	平成32年度 ①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新 ③耐震補強 ④震災時応急拠点整備	
	年度別実績	①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	320,479	0	327,500	524,000	518,000	
	直接経費 A	320,479	0	327,500	524,000	518,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	97,400	0	307,500	504,000	498,000
		その他	223,079	0	20,000	20,000	20,000
一般財源	0	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	%	区分	目標	平成28年度	6.1	平成29年度	11.4	平成30年度	17.7	平成31年度	27.6	平成32年度	37.5	
			実績	6.1	0	0	0	0									
	(指標の説明) 事業費総額に対する進捗率																
	2		目標	0	0	0	0	0									
			実績	0	0	0	0	0									
	(指標の説明)																
	3		目標	0	0	0	0	0									
			実績	0	0	0	0	0									
	(指標の説明)																

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】	水道局工務課管理係 0857-53-7942
	【10次総の施策体系】	4201
	【予算計上の経過】	なし
	【事業の概要】	地震などの災害に強い水道施設とするため、導送配水管の耐震管への更新、水道施設・管路の耐震補強、応急給水拠点の整備を行う。 導送配水管においては、漏水事故の発生率の高い塩化ビニル管や濁水発生の原因となっている老朽化した鋳鉄管を優先して耐震管に布設替える。また、耐震診断・耐震補強計画に基づき、補強が必要なものは計画的に耐震補強工事を実施する。
	【事業の成果】	平成28年度末で平成37年度までの事業費に対する進捗率は6.1%となっている。
	【今後の課題・方向性】	現在、老朽管として位置付けしている鋳鉄管(CIP)、塩化ビニル管(TSVP)及び鋼管(SP)については、平成35年度解消を目標に布設替えを行っているが、平成36年度以降も老朽化した導送配水管の耐震管への布設替えを計画的に行う。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	事業進捗率	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	ほぼ計画していた施工箇所の工事が完成できたため。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	ほぼ年度目標どおりに工事が施工できたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

現在、老朽管として位置付けしている鋳鉄管(CIP)、塩化ビニル管(TSVP)及び鋼管(SP)については、平成35年度解消を目標に布設替えを行っているが、平成36年度以降も老朽化した導送配水管の耐震管への布設替えを計画的に行う。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027100	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	浄水施設整備事業		所属名	鳥取市水道局 鳥取市水道局

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 種別	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成27年度 ~ 平成31年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	水道法 鳥取市水道事業長期 経営構想
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	青谷地域浄水施設、水質検査室
意図 (どのような状態 にするために)	安定した水質を確保するため。
手段 (どうするのか)	青谷地域浄水施設及び水質検査室の早期完成。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①青谷地域浄水施設整備 ②水質検査室建設	平成29年度 ①青谷地域浄水施設整備 ②水質検査室建設	平成30年度 ①青谷地域浄水施設整備 ②水質検査室建設	平成31年度 ①水質検査室建設	平成32年度	
	年度別実績	①青谷地域浄水施設整備					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	111,917	0	167,600	176,400	0	
	直接経費 A	111,917	0	167,600	176,400	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	36,394	0	30,666	0	0
		地方債	37,400	0	106,200	176,400	0
		その他	723	0	134	0	0
一般財源	37,400	0	30,600	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	%	目標	10.6	67.5	83.3	100	0
				実績	10.6	0	0	0	0
		(指標の説明) 事業費総額に対する進捗率							
	2				目標	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0
		(指標の説明)							
	3				目標	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 水道局工務課管理係 0857-53-7942
	【10次総の施策体系】 4201
	【予算計上の経過】 なし
	<p>【事業の概要】          青谷地域上水道の鳴滝水源及び不動山水源の原水からクリプトスポリジウム指標菌が検出されたことから、その対策として膜ろ過施設浄水場を建設する。          老朽化し、耐震基準を満たしていない現在の水質検査室を江山浄水場へ移転新築し、簡易水道事業の統合に伴う業務量の増加などに対応する。</p> <p>【事業の成果】          平成28年度末で平成31年度までの事業費に対する進捗率は10.6%となっている。          平成28年度は浄水場造成、導水管布設工事のほか、膜ろ過設備、浄水棟新築工事等に着手した。</p> <p>【今後の課題・方向性】          青谷地域浄水施設整備については、国庫補助金、上水道事業債等を財源にしており、平成30年の供用開始に向け、計画に遅れないよう事業を進める。          水質検査室については、平成29年度に詳細設計業務を行い、平成30年度から新築工事に着手する。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	事業進捗率	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	ほぼ計画どおり浄水場造成、導水管布設工事のほか膜ろ過設備、浄水棟新築工事等着手できたため。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	ほぼ年度目標どおり工事が施工できたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>青谷地域浄水施設整備については、国庫補助金、上水道事業債等を財源にしており、平成30年度の供用開始に向け、計画に遅れないよう事業を進める。            水質検査室については、平成29年度に詳細設計業務を行い、平成30年度から新築工事に着手する。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027201	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	下水道等事業(管渠費)		所属名	環境下水道部 下水道企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 実施の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	下水道法 鳥取市下水道等事 業経営戦略(平成29年度～平 成38年度)
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 種類	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	その他
予算	予算事業名		0	0	予算事業コード	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	未普及解消事業：下水道未普及地域の管渠敷設等の実施。 浸水対策事業：市街地における浸水被害を防ぐため雨水対策の実施。 管渠改築事業：管渠の地震対策及び長寿命化対策の実施。
意図 (どのような状態 にするために)	未普及解消事業：市街化区域及び公共水域の水質保全を図る。 浸水対策事業：市街地における浸水被害を防ぐ。 管渠改築事業：管渠の安全性及び信頼性を高める。
手段 (どうするのか)	未普及解消事業：汚水幹線・準幹線・枝線等の整備。 浸水対策事業：側溝・雨水管の整備。 管渠改築事業：管渠の診断及び更生。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別計画	①未普及解消事業・浸水対策事業・管渠改築事業の実施。 計画:1,305,530千円	①未普及解消事業・浸水対策事業・管渠改築事業の実施。 計画:1,779,980千円	①未普及解消事業・浸水対策事業・管渠改築事業の実施。 計画:1,538,000千円	①未普及解消事業・浸水対策事業・管渠改築事業の実施。 計画:1,576,000千円	①未普及解消事業・浸水対策事業・管渠改築事業の実施。 計画:1,541,000千円
年度別実績	①実績:1,112,990千円						
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,112,990	1,779,980	1,538,000	1,576,000	1,541,000	
	直接経費 A	1,112,990	1,779,980	1,538,000	1,576,000	1,541,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	352,782	514,725	488,340	507,340	489,840
		地方債	679,500	1,131,000	972,700	989,800	974,100
		その他	51,315	125,755	44,860	44,860	44,810
一般財源		29,393	8,500	32,100	34,000	32,250	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	事業進捗率	%	目標	9.3
			実績	3.2	0	0	0	0
	(指標の説明) 事業費の総額に対する進捗率							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】下水道建設課建設第1係 0857-20-3306、建設第2係 0857-20-3307</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 下水道等事業会計(企業会計) 当初予算・2月補正</p> <p>【事業の概要】 未普及解消事業：下水道未普及地域の管渠敷設等の実施。 浸水対策事業：市街地における浸水被害を防ぐため雨水対策の実施。 管渠改築事業：管渠の地震対策及び長寿命化対策の実施。</p> <p>【事業の成果】 普及解消事業：市街化区域及び公共水域の水質保全を図る。 浸水対策事業：市街地における浸水被害を防ぐ。 管渠改築事業：管渠の安全性及び信頼性を高める。</p> <p>【今後の課題・方向性】 未普及解消事業・浸水対策事業・管渠改築事業の内容等を精査し、事業費の削減を図り継続して行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	事業進捗率	34%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画していた施設整備を次年度へ繰越したため。
事業の成果  <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	目標していた施設整備を次年度へ繰越したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 未普及解消事業・浸水対策事業・管渠改築事業の内容等を精査し、事業費の削減を図り継続して行う。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027202	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	下水道等事業(ポンプ場費)		所属名	環境下水道部 下水道企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 目標の 目標の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	下水道法 鳥取市下水道等事 業経営戦略(平成29年度～平 成38年度)
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 目標の 目標の	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	その他
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	ポンプ場改築事業：ポンプ場の地震対策及び長寿命化対策の実施。
意図 (どのような状態 にするために)	ポンプ場改築事業：ポンプ場の安全性及び信頼性を高める。
手段 (どうするのか)	ポンプ場改築事業：ポンプ場の長寿命化対策及び計画策定。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別計画	①ポンプ場改築事業の実施。 計画:115,600千円	①ポンプ場改築事業の実施。 計画:88,000千円	①ポンプ場改築事業の実施。 計画:5,000千円	①ポンプ場改築事業の実施。 計画:117,490千円	①ポンプ場改築事業の実施。 計画:275,636千円
年度別実績	①実績:111,831千円						
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	111,831	88,000	5,000	117,490	275,636	
	直接経費 A	111,831	88,000	5,000	117,490	275,636	
	直接経費の財源内訳	国・県	50,300	44,000	0	56,245	135,318
		地方債	52,200	44,000	5,000	61,200	140,300
		その他	31	0	0	45	18
一般財源	9,300	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	事業進捗率	%	目標	4.2
			実績	4.2	0	0	0	0
	(指標の説明) 事業費の総額に対する進捗率							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】下水道企画課計画係 0857-20-3303、事業調整係 0857-20-3924</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 下水道等事業会計(企業会計) 当初予算・2月補正</p> <p>【事業の概要】 ポンプ場改築事業：ポンプ場の地震対策及び長寿命化対策の実施。</p> <p>【事業の成果】 ポンプ場改築事業：ポンプ場の安全性及び信頼性を高める。</p> <p>【今後の課題・方向性】 ポンプ場改築事業の内容等を精査し、事業費の削減を図り継続して行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	事業進捗率	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	ほぼ計画どおりの施設整備を執行したため。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	ほぼ目標どおりの施設整備を執行したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> ポンプ場改築事業の内容等精査し、事業費の削減を図り継続して行う。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027203	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	下水道等事業(処理場費)		所属名	環境下水道部 下水道企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 実施の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	下水道法 鳥取市下水道等事 業経営戦略(平成29年度～平 成38年度)
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の種別			平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	その他
予算	予算事業名				予算事業コード	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	処理場改築事業：処理場の地震対策及び長寿命化対策の実施。 水質保全事業：水処理施設等整備の実施。
意図 (どのような状態 にするために)	処理場改築事業：処理場の安全性及び信頼性を高める。 水質保全事業：公共用水域の水質保全及び水循環を構築する。
手段 (どうするのか)	処理場改築事業：処理場各施設の診断及び改修。 水質保全事業：処理場各施設の改修。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①処理場改築事業・水 質保全事業の実施。 計画:631,000千円	平成29年度 ①処理場改築事業・水 質保全事業の実施。 計画:657,900千円	平成30年度 ①処理場改築事業・水 質保全事業の実施。 計画:1,130,035千円	平成31年度 ①処理場改築事業・水 質保全事業の実施。 計画:1,260,185千円	平成32年度 ①処理場改築事業・水 質保全事業の実施。 計画:1,444,271千円	
	年度別実績	①実績:467,607千円					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	467,607	657,900	1,130,035	1,260,185	1,444,271	
	直接経費 A	467,607	657,900	1,130,035	1,260,185	1,444,271	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	232,367	328,595	565,517	620,392	725,985
		地方債	221,200	325,800	564,500	629,700	708,200
		その他	94	5	18	93	86
一般財源		13,946	3,500	0	10,000	10,000	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	%	目標	3.3	6.7	12.5	18.9	26.3	
				実績	3.3	0	0	0	0	
		(指標の説明) 事業費の総額に対する進捗率								
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)								
	3				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)								

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 下水道企画課計画係 0857-20-3303、事業調整係 0857-20-3924</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 下水道等事業会計(企業会計) 当初予算・2月補正</p> <p>【事業の概要】 処理場改築事業：処理場の地震対策及び長寿命化対策の実施。 水質保全事業：水処理施設等整備の実施。</p> <p>【事業の成果】 処理場改築事業：処理場の安全性及び信頼性を高める。 水質保全事業：公共用水域の水質保全及び水循環を構築する。</p> <p>【今後の課題・方向性】 処理場改築事業・水質保全事業の内容等精査し、事業費の縮減を図り継続して行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	事業進捗率	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	ほぼ計画どおりの施設整備を執行したため。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	ほぼ目標どおりの施設整備を執行したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 処理場改築事業・水質保全事業の内容等精査し、事業費の縮減を図り継続して行う。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027301	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	簡易水道整備事業(改修)		所属名	農林水産部 農村整備課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 実施の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成25年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備	
安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営	
公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	特別会計	
		0	0	予算事業コード	04-01-01-02-01-09	
予算事業名	簡易水道施設改修整備事業費					

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	簡易水道施設
意図 (どのような状態 にするために)	安心安全な水道水を安定供給できる状態に保つ
手段 (どうするのか)	効率的に改修を行う

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①猪子:飲料水供給施設測量設計 ②蔵見上:用地取得 ③口佐治:浄水施設整備 ④津無:用地取得 ⑤鬼入道:送水施設整備	＜水道事業へ統合＞				
	年度別実績	①猪子:飲料水供給施設測量設計 ②蔵見上:用地取得 ③口佐治:浄水施設整備 ④津無:用地取得 ⑤鬼入道:送水施設整備					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	170,681	0	0	0	0	
	直接経費 A	170,681	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	8,594	0	0	0	0
		地方債	160,150	0	0	0	0
		その他	1,193	0	0	0	0
一般財源	744	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	新規に事業着手した簡易水道事業等及び地域の数	施設	目標	5	0	0	0	0	
				実績	5	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 総務経営係 0857-20-3241
	【10次総の施策体系】 4201
	【予算上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P305・(簡005)
	【事業の概要】 現在73箇所ある簡易水道施設を効率的に改修し、適切な維持管理と安心安全な水道水の安定供給を目指す。
	【事業の成果】 平成27年度 218,375千円 (宇倍野整備工事・口佐治整備工事・津無整備工事・鬼入道整備工事) 平成28年度 186,456千円 (猪子整備工事・蔵見上野整備工事・口佐治整備工事・津無整備工事・鬼入道整備工事)
【今後の課題・方向性】 平成28年度に簡易水道事業を水道事業へ統合。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	新規に事業着手した簡易水道事業等及び地域の数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>水道事業への統合により農村整備課での事業を終了とする。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027302	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	簡易水道整備事業(統合)		所属名	農林水産部 農村整備課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 実施の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成23年度 ~ 平成28年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備	
安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営	
公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	特別会計	
		0	0	予算事業コード	04-01-01-02-01-34	
予算事業名	簡易水道施設統合整備事業費					

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	簡易水道施設
意図 (どのような状態 にするために)	効率的に水道事業へ統合する
手段 (どうするのか)	配水管の布設を行う

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①遠隔監視システム整備 ②野坂簡易水道整備 ③明治豊美簡易水道整備 ④円通寺簡易水道整備 ⑤内海中簡易水道整備 ⑥福部地域簡易水道整備	<水道事業へ統合>				
	年度別実績	①遠隔監視システム整備 ②野坂簡易水道整備 ③明治豊美簡易水道整備 ④円通寺簡易水道整備 ⑤内海中簡易水道整備 ⑥福部地域簡易水道整備					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	544,483	0	0	0	0	
	直接経費 A	544,483	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	81,543	0	0	0	0
		地方債	270,300	0	0	0	0
		その他	161,348	0	0	0	0
一般財源	31,292	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	整備地域数	地域	目標	5	0	0	0	0	
				実績	5	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 総務係 0857-20-3241
	【10次総の施策体系】 4201
	【予算上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P305・(簡006)
	【事業の概要】 水道事業への統合に際し、統合後の維持管理を効率的に行うため配水管の布設を行う。
	【事業の成果】 平成27年度 611,946千円 (遠隔監視システム整備事業・野坂整備工事・明治豊実整備工事・円通寺整備工事・内海中整備工事・福部地域整備工事)  平成27年度 28,735千円 (遠隔監視システム整備事業・野坂整備工事・明治豊実整備工事・円通寺整備工事・内海中整備工事・福部地域整備工事)
【今後の課題・方向性】 平成28年度に水道事業へ統合	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	整備地域数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>水道事業への統合により農村整備課での事業を終了とする。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027400	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	緑化推進事業		所属名	都市整備部 都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	その他
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	外部委託
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	緑化推進事業費			予算事業コード	01-07-05-01-36-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	緑化活動を行う者
意図 (どのような状態 にするために)	緑化知識の定着及び緑化技術の向上
手段 (どうするのか)	講習会の実施及び補助金等を助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①ナチュラルガーデン維持監理指導 ②ナチュラルガーデン倶楽部育成事業 ③緑のサポ-ト育成・ミニチュアルガーデン花壇設置 ④山陰山陽花めぐり街道協議会参加 ⑤広場芝生化への補助	①ナチュラルガーデン維持監理指導 ②ナチュラルガーデン倶楽部育成事業 ③緑のサポ-ト育成・ミニチュアルガーデン花壇設置 ④山陰山陽花めぐり街道協議会参加 ⑤広場芝生化への補助 ⑥緑の基本計画調査	①ナチュラルガーデン維持監理指導 ②ナチュラルガーデン倶楽部育成事業 ③緑のサポ-ト育成・ミニチュアルガーデン花壇設置 ④山陰山陽花めぐり街道協議会参加 ⑤広場芝生化への補助	①緑のサポ-ト育成・ミニチュアルガーデン花壇設置 ②山陰山陽花めぐり街道協議会参加 ③広場芝生化への補助	①緑のサポ-ト育成・ミニチュアルガーデン花壇設置 ②山陰山陽花めぐり街道協議会参加 ③広場芝生化への補助	
	年度別実績	①～⑤の全てを実施完了した。					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,857	0	0	0	0	
	直接経費 A	8,857	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	881	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	476	0	0	0	0
一般財源	7,500	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	ナチュラルガーデン倶楽部育成事業(参加人数)	人	目標	30	25	25	0	0
		(指標の説明)	実績	23	0	0	0	0	
	2	ミニナチュラルガーデン設置(公園、小学校など)	箇所	目標	12	12	12	12	12
		(指標の説明)	実績	12	0	0	0	0	
	3			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 景観緑化係 0857-20-3271</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】        予算事業別概要目次：当初予算・P196（都024）</p> <p>【事業の概要】        緑化知識の普及や緑化意識の高揚に資するため、平成25年に全国都市緑化フェアを開催した。全国都市緑化フェアの開催を契機として、緑化知識の定着及び緑化技術の向上を図る。        また、湖山池公園を中心に緑化施策を展開し、緑豊かなガーデンシティ鳥取市として、住みやすい街づくりを推進する。</p> <p>【事業の成果】        ナチュラルガーデン維持監理業務、緑化推進事業、山陰山陽花めぐり協議会負担金など        平成26年度 3,251千円        平成27年度 4,600千円        平成28年度 9,267千円</p> <p>【今後の課題・方向性】        今後も緑化知識の定着及び緑化技術の向上を図るため、事業を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	ナチュラルガーデン倶楽部育成事業(参加人数)	77%				
	2	ミニナチュラルガーデン設置(公園、小学校など)	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	ナチュラルガーデン倶楽部育成事業において、前年と比べ講習会開催回数を増やし初回開催日を約2ヶ月早めたため、広報及び応募期間が短くなり参加人数が目標を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>計画していた事業については概ね目標が達成でき順調に進捗しているものとする。現在の事業を引き続き実施するとともに、新たな事業を計画し更なる緑化推進に努める。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027500	重点施策	まちづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公園芝生化推進事業		所属名	都市整備部 都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 実施の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備	
安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	外部委託	
公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計	
		0	0	予算事業コード	01-07-05-04-12-01	
予算	予算事業名	公園芝生化推進事業費			予算事業コード	01-07-05-04-12-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	都市公園、公共空地
意図 (どのような状態 にするために)	都市公園等の芝生化
手段 (どうするのか)	地域住民等と協働して、芝苗(ポット苗)の植付から、水やり、芝刈りなどの維持管理までを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①芝生化等推進業務 芝生化面積7,000㎡ ②芝刈り機購入	平成29年度 ①芝生化等推進業務 芝生化面積7,000㎡	平成30年度 ①芝生化等推進業務 芝生化面積7,000㎡	平成31年度 ①芝生化等推進業務 芝生化面積7,000㎡	平成32年度 ①芝生化等推進業務 芝生化面積7,000㎡	
	年度別実績	①芝生化等推進業務 芝生化箇所 7箇所 芝生化面積 7,940㎡ ②芝刈り機購入 乗用 1台 ハンドガイド 1台					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	9,465	0	0	0	0	
	直接経費 A	9,465	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,856	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,609	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		[KPI]市民との協働による身近な公園の芝生化数	カ所	目標	120	130	140	150	0	
				実績	124	0	0	0	0	
			(指標の説明) 芝生化を進める公園等の数。基準値はH26実績							
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
	3		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 公園係 0857-20-3273</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P198（都027）</p> <p>【事業の概要】 既存の都市公園、公共空地を芝生化することにより、遊具等の新たな整備費用の抑制、草刈り等の維持管理費用の削減を図る。市民が直接事業に参加することにより「協働」意識の高揚を図る。芝生化による安全快適な遊び場の提供、環境保全などの効果を高める。</p> <p>【事業の成果】 公園等芝生化推進業務 芝刈機購入（乗用1台、バックがけ1台） （26）7,459千円 （27）8,478千円 （28）9,464千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民との協働による芝生化により、安全安心な環境づくりを推進する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】市民との協働による身近な公園の芝生化数	103%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>都市公園や公共空地において、はだして遊べる公園づくりを目指して市民との協働による芝生化を実施しているところであるが、芝生化面積に対して芝刈り機の台数が不足している現状があるため、計画的に芝刈機を購入するとともに、効率的な芝刈機の更新を行い、快適な芝生環境を整える。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	公園整備事業		所属名	都市整備部	都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 位置づけ	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	公園整備事業費			予算事業コード	01-07-05-03-04-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	都市公園
意図 (どのような状態 にするために)	施設整備
手段 (どうするのか)	整備工事等を実施

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①社会資本整備総合交付金(公園事業)、起債等を活用した、公園整備事業の実施	①社会資本整備総合交付金(公園事業)、起債等を活用した、公園整備事業の実施	①社会資本整備総合交付金(公園事業)、起債等を活用した、公園整備事業の実施	①社会資本整備総合交付金(公園事業)、起債等を活用した、公園整備事業の実施	①社会資本整備総合交付金(公園事業)、起債等を活用した、公園整備事業の実施	
	年度別実績	①公園整備事業 ・公園施設更新工事 ・千代水緑地植栽工事 ・防災井戸設置工事 ・国府町桜づつみ公園整備工事					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	72,636	0	0	0	0	
	直接経費 A	72,636	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	30,051	0	0	0	0
		地方債	35,100	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,485	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		目標			0	0	0	0	0	
		実績			0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2	目標			0	0	0	0	0	
		実績			0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
	3	目標			0	0	0	0	0	
		実績			0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】公園係 0857-20-3273</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P197（都025）</p> <p>【事業の概要】 社会資本整備総合交付金（公園事業）、起債等を活用し、公園事業を推進する。</p> <p>【事業の成果】 公園施設更新工事、千代水緑地植栽工事（交付金事業） 都市公園等防災井戸設置工事、国府町桜づつみ公園整備事業（起債事業・合併）</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民ニーズに対応しつつ、社会資本整備総合交付金などを活用しながら、公園施設長寿命化計画による施設更新を行い、安全安心な公園整備を推進する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1						
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>社会資本整備総合交付金や起債等を有効に活用しながら、公園施設の更新などの公園事業を推進する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027700	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	街なみ環境整備事業		所属名	都市整備部	都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 目標の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成27年度 ~ 平成31年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 実施の	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	街なみ環境整備事業費			予算事業コード	01-07-05-01-23-10

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	城下町の歴史的貴重な資源が残る地域において、
意図 (どのような状態 にするために)	観光入込み客数の増加を図り、住民の定住化、観光振興による地域活性化に繋げるため、
手段 (どうするのか)	街なみ景観の維持、向上を図るため、歴史的特性を活かした街なみ整備を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	<<久松地区>> ①用地取得	<<久松地区>> ①電線類地中化工事 ②建物・立木補償 ③既設管移設補償  <<鹿野地区>> ④美舗装化工事	<<久松地区>> ①電線類地中化工事 ②道路改良工事 ③美舗装工事 ④既設管移設補償  <<鹿野地区>> ⑤住宅等修景補助	<<久松地区>> ①電線類地中化工事 ②道路改良工事 ③美舗装工事  <<鹿野地区>> ④住宅等修景補助		
	年度別実績	<<久松地区>> ①用地取得					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,835	0	0	0	0	
	直接経費 A	5,835	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,404	0	0	0	0
		地方債	1,300	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		131	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	久松地区街なみ環境整備事業	箇所	目標	0	0	0	1	0	
		実績		0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 1つの区域を定め城下町の歴史的景観に配慮した道路整備を行う事業であり、完了予定年度に目標値を設定									
	2	鹿野地区街なみ環境整備事業	箇所	目標	0	0	0	1	0	
		実績		0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 1つの区域を定め城下町の歴史的景観に配慮した街なみ整備を行う事業であり、完了予定年度に目標値を設定									
3				目標	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 景観緑化係 0857-20-3271</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P196（都023）</p> <p>【事業の概要】 城跡、お堀端の特性を活かした街なみ整備により、観光振興による地域活性化、地域文化の伝承、住民の定住化促進を図る。</p> <p>【事業の成果】 整備計画に基づき、整備箇所に係る用地（A＝87.57㎡）を取得した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度から本格的に整備工事を行う計画であり、電線類地中化工事、道路改良工事、移転補償工事等の関連業者並びに地元関係者との協議調整が必要となる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	久松地区街なみ環境整備事業					
	2	鹿野地区街なみ環境整備事業					
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>今年度までは順調に進捗しているものとする。今後も計画通りに整備工事を進捗していく。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027800	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	都市公園等管理事業		所属名	都市整備部 都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4201	生活基盤の充実				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	施設管理
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	都市公園等管理費		予算事業コード	01-07-05-04-01-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	都市公園、公共空地
意図 (どのような状態 にするために)	市民に対して安全・安心な憩いの広場を提供し、公園の利用促進を図る。
手段 (どうするのか)	都市公園等の維持管理業務を指定管理者等に委託する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	都市公園等指定管理 公共空地維持管理					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	205,404	0	0	0	0	
	直接経費 A	205,404	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	6,372	0	0	0	0
一般財源	199,032	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		目標			0	0	0	0	0	
		実績			0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2	目標			0	0	0	0	0	
		実績			0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
	3	目標			0	0	0	0	0	
		実績			0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 公園係 0857-20-3273</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P197（都026）</p> <p>【事業の概要】 都市公園等の維持管理業務を適正・迅速に行う事により、安全・安心な憩いの場を市民に提供する。また、指定管理者制度を導入し、指定管理者の創意工夫に基づき民間的な要素を取り入れた質の高い住民サービスを提供し、経費節減、業務の効率化を図る。</p> <p>【事業の成果】 都市公園等指定管理 公共空地維持管理業務</p> <p>【今後の課題・方向性】 管理の重要性が増していく中で、指定管理者制度を活用するなど効率的な公園管理を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1						
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>都市公園や公共空地の維持管理を適切に行うことにより、安全で安心できる憩いのスペースを提供する。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	027900	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	空き家対策事業		所属名	都市整備部 建築指導課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 実施の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市空家等の適正な管理に 関する条例
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)	
安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	補助金交付	
公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計	
		0	0	予算事業コード	01-07-01-02-21-02	
予算事業名	空き家対策事業費					

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	管理不全な状態にあり、当課より必要な措置を講じるよう指導、勧告された戸建住宅。
意図 (どのような状態 にするために)	放置され老朽し、倒壊等のおそれのある空き家等から、市民の暮らしの安全・安心を確保する。
手段 (どうするか)	所有者等に対して空き家の管理について必要な措置を講じるよう指導等を行い、空き家を放置することの危険性を認識させ改修等適正管理を促し、除却を行う者に対して補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①空き家等対策協議会の開催 ②空家等除却事業費補助金 ③空き家処分事業交付金 ④空家等に対する略式代執行)	平成29年度 ①空き家等対策協議会の開催 ②空家等除却事業費補助金 ③空き家処分事業交付金 ④空家等に対する略式代執行)	平成30年度 ①空き家等対策協議会の開催 ②空家等除却事業費補助金 ③空き家処分事業交付金 ④空家等に対する略式代執行)	平成31年度 ①空き家等対策協議会の開催 ②空家等除却事業費補助金 ③空き家処分事業交付金 ④空家等に対する略式代執行)	平成32年度 ①空き家等対策協議会の開催 ②空家等除却事業費補助金 ③空き家処分事業交付金 ④空家等に対する略式代執行)	
	年度別実績	①空き家等対策協議会の開催:委員8名 ②空家等除却事業費補助金:除却8件 ③空き家処分事業交付金:対象なし ④空家等に対する略式代執行:執行1件					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,503	0	0	0	0	
	直接経費 A	3,503	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,131	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,371	0	0	0	0
一般財源	1	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	危険である空き家を割り出し改善指導を行っていく。	件	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				目標	10	10	10	10	10		
	実績	8	0	0	0	0					
	2	(指標の説明) 鳥取市空き家等除却事業補助金の交付件数	目標	0	0	0	0	0			
			実績	0	0	0	0	0			
	3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0			
実績			0	0	0	0	0				

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 建築指導係 0857-20-3282</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P203（都038）</p> <p>【事業の概要・事業の成果】</p> <p>①空き家等対策協議会の開催（委員8名） ②補助金名：空き家等除却事業費補助金 目的：空き家の所有者等に対し、必要な指導又は協力要請を行い、災害を未然に防止するとともに良好な景観及び生活環境の創生に寄与する。 内容：倒壊等のおそれのある特定空き家等の解体費用に対する補助 補助対象者：指導・勧告された空き家の所有者等 (実績) 平成26年度：3件 平成27年度：9件 平成28年度8件</p> <p>③交付金名：空き家解体コーディネート・空き家かたづけ隊モデル事業交付金 目的：除却を促進し、良好な景観及び生活環境の創生並びに安全で安心な地域づくりに寄与する。 内容：家屋を除却する際の家財等の処理 補助対象者：所有者等と連携し実施する自治体 (実績) なし</p> <p>④倒壊等のおそれのある特定空き家等に対する略式代執行費用 対象住戸：所有者不明の特定空き家等で現に倒壊等が進行し公道等に影響があるもの (実績) 平成28年度 1件</p> <p>【今後の課題・方向性】 特定空き家等に対しては、指導通知等で適切に管理して頂くよう所有者等へ促し安全で安心な地域づくりを促進する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	危険である空き家を割り出し改善指導を行っていく。	80%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でのどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	空き家等除却の補助申請数は10件で、計画とおり。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	空き家等除却の補助申請数10件に対して8件補助。(2件は申請者の辞退によるもの)

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>適切な管理が行われていない特定空き家等が防災、衛生等の地域住民の生活環境に申告な影響を及ぼしており、地域住民の生命、身体、財産の保護、生活環境の保全等のため対応が必要。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	028000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	定期借地権付土地分譲制度による地域活性化事業		所属名	都市整備部	建築住宅課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 種別	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 内容	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	定期借地権付土地分譲制度活用による地域活性化事業費		予算事業コード	01-02-01-06-02-06	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	青谷町望町団地（鳥取県住宅供給公社所有）及び鹿野町湯川団地（鳥取市土地開発公社所有）
意図 (どのような状態 にするために)	分譲を促進し、団地内の街なみの形成を促進し、地域活性化を図るため
手段 (どうするのか)	従来の買い取りによる分譲に加えて、定期借地権付分譲制度を導入する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①定期借地権付き土地分譲 ・青谷町望町団地 ・鹿野町湯川団地	①定期借地権付き土地分譲 ・青谷町望町団地 ・鹿野町湯川団地	①定期借地権付き土地分譲 ・青谷町望町団地 ・鹿野町湯川団地	①定期借地権付き土地分譲 ・青谷町望町団地 ・鹿野町湯川団地	①定期借地権付き土地分譲 ・青谷町望町団地 ・鹿野町湯川団地	①定期借地権付き土地分譲 ・青谷町望町団地 ・鹿野町湯川団地
事業費	年度別実績	①定期借地権付き土地分譲 ・青谷町望町団地 1件 ・鹿野町湯川団地 0件					
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		事業費(A+B)	4,478	0	0	0	0
		直接経費 A	4,478	0	0	0	0
		直接経費の財源内訳					
		国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	16	0	0	0	0
		一般財源	4,462	0	0	0	0

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	定期借地権付土地分譲	区画	目標	2
			実績	1	0	0	0	0
	(指標の説明) 青谷町望町団地・鹿野町湯川団地で毎年度各1区画の分譲を目指す。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合わせ先】住宅係 0857-20-3291</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P204（都039）</p> <p>【事業の概要】 青谷町望町団地（所有：鳥取県住宅供給公社）及び鹿野町湯川団地（所有：鳥取市土地開発公社）は、販売実績が低迷しており、こうした状況を好転させるべく、新しい分譲制度の『定期借地権付土地分譲』を導入し分譲促進を図ることで、団地内の街なみの形成促進と地域の活性化につなげる。</p> <p>①販売区画数（予定） 青谷望町団地21区画・鹿野湯川団地27区画</p> <p>②定期借地条件 用途：借受人が移住する専用又は店舗併用住宅 借地期間：51年（借地期間50年＋建物撤去期間1年） 借地保証料：100万円 （建物撤去後、土地を返還又は購入の場合は無利息で全額返還） 貸付賃料：土地価格の約1.5%（年額）（公社から鳥取市が買い上げ借受人に貸付）</p> <p>【事業の成果】 鳥取県住宅供給公社及び鳥取市土地開発公社と協力し、市報やホームページ等を通じ広報活動を行っている。 ○分譲実績：H28年度1件（望町団地） H25～H27年度実績なし</p> <p>【今後の課題・方向性】 両公社とともに更に戦略的な広報を行うとともに、分譲促進につながるような方策の検討を行う必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	定期借地権付土地分譲	50%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	定期借地権付土地分譲であり、50年間の借地契約で自己資産とならないため、分譲申し込みを躊躇される方が多いと考えられる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>平成28年度は初めて定期借地権付土地分譲1件の実績が出たが、依然として販売実績が低迷する中で、両公社とともに更に戦略的な広報を行うとともに、分譲促進につながるような方策の検討を行う必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	028100	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	福祉のまちづくり推進事業		所属名	都市整備部 建築指導課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 実施の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	バリアフリー法、鳥取県福祉のま ちづくり条例
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備	
安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	補助金交付	
公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計	
		0	0	予算事業コード	01-07-01-02-02-01	
予算事業名	福祉のまちづくり推進事業費					

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	バリアフリー法、及び鳥取県福祉のまちづくり条例による特定建物。
意図 (どのような状態 にするために)	高齢者、身障者等を取り巻く様々な障壁を除去し、福祉のまちづくりを推進する。
手段 (どうするのか)	改修等を行う事業主に補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①補助金交付件数 5件	①補助金交付件数 5件	①補助金交付件数 5件	①補助金交付件数 5件	①補助金交付件数 5件	
	年度別実績	①補助金交付件数 8件					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,108	0	0	0	0	
	直接経費 A	8,108	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	6,075	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		2,033	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	実施件数	件	目標	5	5	5	5	5
				実績	8	0	0	0	0
	(指標の説明) 鳥取市福祉のまちづくり推進事業補助金を活用して実施した件数。								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 審査係 0857-20-3281</p> <p>【10次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P201（都034）</p> <p>【事業の概要】 補助金名：福祉のまちづくり推進事業補助金 目的：特定建築物のバリアフリー化を促進し、高齢者、障害者等の住みよいまちづくりを推進する。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度：6件 平成27年度：2件 平成28年度：8件</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民からの相談や要望の状況を的確に把握し、国・県と連携して事業推進に努める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	実施件数	160%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	事業の周知等により、計画を上回る件数となった。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	達成率160%となり、年間目標値を上回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> バリアフリーを充実し、高齢者、身障者が生きがいを持ちながら生活できる社会の実現のために継続的に事業を行う必要がある。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	028200	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	施設管理業務委託事業		所属名	都市整備部 建築住宅課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	施設管理
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	外部委託
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	施設管理業務委託事業費			予算事業コード	01-07-06-01-02-02

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市営住宅(大森団地・湖山団地・田島団地・湯所団地)…Ⅰ期 市営住宅(徳吉団地)…Ⅱ期 市営住宅(旭町団地)…Ⅲ期
意図 (どのような状態にするために)	修繕受付などについて、迅速かつ適切に対応することで住民サービスの向上を図るため
手段 (どうするのか)	施設管理業務をノウハウを有する民間の賃貸住宅管理会社にモデル的に委託する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①公営住宅管理 市営 43団地 2,195戸 県営 13団地 245戸	①公営住宅管理 市営 43団地 2,195戸 県営 13団地 245戸	①公営住宅管理 市営 43団地 2,195戸 県営 13団地 245戸	①公営住宅管理 市営 43団地 2,195戸 県営 13団地 245戸	①公営住宅管理 市営 43団地 2,195戸 県営 13団地 245戸	
	年度別実績	①公営住宅管理 市営 43団地 2,195戸 県営 13団地 245戸 《うち、外部委託による効率的管理》 計 6団地 1,120戸 ・4団地 392戸 ・1団地 448戸 ・1団地 280戸					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	50,893	0	0	0	0	
	直接経費 A	50,893	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	50,893	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	管理委託戸数	戸	目標	1120	1120	1120	1120	1120
				実績	1120	0	0	0	0
	(指標の説明) 市営住宅の施設管理業務を民間へ委託するもの。								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】住宅係 0857-20-3291</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P204（都040）</p> <p>【事業の概要】 本市の市営住宅は、43団地で2,159戸、更には13団地245戸の県営住宅も代行管理しているが、この住宅施設の管理業務が非常に多くなっており、必ずしも迅速な対応が出来ていない。そのため平成23年度から施設管理業務委託事業として、一部団地の管理業務について委託実施している。 ○委託契約期間 2ヶ年 ○委託業務内容（主なもの）※24時間365日の緊急対応体制 施設管理業務対応（緊急、一般、入居修繕）、施設の法定点検業務、害虫駆除・樹木剪定業務、苦情相談対応業務、定期的巡回点検業務</p> <p>【事業の成果】 市営住宅の施設管理業務を民間の賃貸住宅管理会社に委託することで、民間の有するノウハウを活用でき、より適切な対応が図れ住民サービス向上に寄与。 ①委託戸数 平成28年度末現在 1,120戸（全体管理戸数の約1/2） ②委託団地 湖山、大森、湯所、田島、徳吉、旭町</p> <p>【今後の課題・方向性】 問題点や課題等を検証し、将来的に全戸委託への移行を視野に順次対象団地を拡大する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	管理委託戸数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	<p>外部委託する戸数をより増やしていきたいと考えているが、受け手の発掘に苦慮しており、今後も取り組みの方法を検証しながら継続していく必要がある。</p>
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>問題点や課題等を検証し、将来的に全戸委託への移行を視野に順次対象団地を拡大する。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	028300	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	市営住宅ストック総合改善事業		所属名	都市整備部	建築住宅課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 種別	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成27年度 ~ 平成30年度
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の 内容	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営
	公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	吉成団地ストック総合改善事業			予算事業コード	01-07-06-02-15-08

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	吉成団地
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化した市営住宅入居者の居住の安定を図るため
手段 (どうするのか)	住戸改善(バリアフリー化や住戸面積の改善)を実施

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 住宅リフォーム ①吉成B棟改善工事 ②吉成A棟実施設計	平成29年度 住宅リフォーム ①吉成B棟改善工事 ②吉成A棟改善工事	平成30年度 住宅リフォーム ①吉成A棟改善工事	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	住宅リフォーム ①吉成B棟改善工事 ②吉成A棟実施設計					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費		事業費(A+B)	79,135	0	0	0	0
		直接経費 A	79,135	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳	国・県	44,244	0	0	0	0
		地方債	34,600	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	291	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	改善工事の実施	棟	目標	1	2	1	0	0
			実績	1	0	0	0	0	
		(指標の説明)							
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							
	3		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】住宅係 0857-20-3291</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P205（都042）</p> <p>【事業の概要】 吉成団地の老朽化に伴いストック改善を行い、高齢者などの安全や利便にも配慮した住宅にリフォームすることにより住環境の改善を図る。 ○事業期間 平成27年度～平成30年度 中層耐火構造4階建2棟40戸を順次リフォームを行う。 平成27年度 B棟改善工事実施設計 平成28年度 B棟（中層耐火4階建14戸）改善工事着手 A棟改善工事実施設計 平成29年度 B棟改善工事完成 A棟（中層耐火4階建20戸）改善工事着手 平成30年度 A棟改善工事完成</p> <p>【事業の成果】 平成28年度はB棟改善工事着手及びA棟改善工事実施設計を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成30年度事業完了予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	改善工事の実施	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	工事の年度内完成ができず、繰越したため。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	平成30年度で事業完了予定。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	028400	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	公営住宅等長寿命化対策事業		所属名	都市整備部 建築住宅課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 実施の 目標の 予算	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4201	生活基盤の充実			
目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備	
安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)		0%	50%	運営方法	直営	
公共下水道普及率		77人	78人	会計区分	一般会計	
		0	0	予算事業コード	01-07-06-02-16-01	
予算	予算事業名	公営住宅等長寿命化対策費			予算事業コード	01-07-06-02-16-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市管理の市営住宅
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化の進んだ市営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新を実現するため
手段 (どうするのか)	鳥取市営住宅長寿命化計画に則した改修等工事を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①下味野団地B棟外壁改修工事 ②徳吉団地R17~19棟下水道接続工事・浄化槽解体工事	①下味野団地B棟外壁改修工事 ②国安団地外壁改修工事				
	年度別実績	①下味野団地B棟外壁改修工事 ②徳吉団地R17~19棟下水道接続工事・浄化槽解体工事					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	20,924	0	0	0	0	
	直接経費 A	20,924	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	16,482	0	0	0	0
		地方債	2,300	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,142	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	下味野B・国安団地外壁改修工事、徳吉団地R17~19棟下水道接続・浄化槽解体工事	団地	目標	2	2	0	0	0	
				実績	2	0	0	0	0	
	(指標の説明) 長寿命化計画に則した対象団地の工事実施									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】住宅係 0857-20-3291</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P206（都043）</p> <p>【事業の概要】 本市が管理している市営住宅のうち、築30年以上経過する住宅が平成22年度時点で800戸を超えるなど老朽化が進んでいたため、平成23年3月に「鳥取市営住宅長寿命化計画」を策定し、平成27年度には策定から5年を経過することから計画見直しを行い、計画的な整備と適正な維持管理を行っている。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度「鳥取市営住宅長寿命化計画」の見直し。 平成28年度 下味野団地B棟外壁改修、徳吉団地R17～19棟下水道接続工事等</p> <p>【今後の課題・方向性】 長寿命化計画に則した事業展開を行い、老朽化した市営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新の実現とストックの長寿化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	下味野B・国安団地外壁改修工事、徳吉団地R17～19棟下水道接続・浄化槽解体工事	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	徳吉団地R17～19棟浄化槽解体工事が年度内に完成しなかったため。(翌年度未完成部分を新たに発注)
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	徳吉団地R17～19棟浄化槽解体工事が年度内に完成しなかったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

長寿命化計画に則した事業展開を行い、老朽化した市営住宅ストックの効率的、かつ円滑な更新の実現とストックの長寿化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげる。